

## 第112回 関西広域連合委員会

日時：令和元年12月22日（日）

場所：リーガロイヤルNCB

2階 淀の間

### 開会 14時00分

○井戸広域連合長　それでは第112回関西広域連合委員会を開会させていただきます。本日は、協議事項が4件と報告事項が7件ありますが、協議事項から議事をはじめさせていただきます。

最初は令和2年度の当初予算案についてです。

今回の委員会が、当初予算案を説明する最初の機会となりますので、恐縮ですが、各委員から担当分野についてご説明をいただくということにさせていただきたいと思っております。

この予算案について当委員会でご了解いただきましたら、1月の総務常任委員会、2月の全員協議会を経まして、連合議会3月定例会に提案をさせていただく運びになりますので、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、まず私からご説明させていただきたいと思っております。

資料1の1ページをご覧ください。

歳出の総額が24億2,834万3,000円と、4,260万円ほどの増（+1.8%）となっておりますが、歳出増は広域スポーツ振興費の関係と、広域医療費のドクターヘリ関係と、それから資格試験免許の関係で若干の増加になっております。

続きまして、9ページをご覧くださいと思います。

広域防災でございますが、関西全体の事前防災の取組を推進させていただこうとしております。

5つの柱になっておりますが、事業としては4つ。（1）大規模広域災害を想定した広域対応の推進、（2）災害時の物資供給の円滑化の推進、（3）防災・減災事業

の推進、（４）防災庁創設の推進という４つの事業を展開させていただいておりまして、合計で2,574万円を計上させていただいております。

新規を中心にご説明を申し上げます。10ページをご覧ください。

南海トラフ地震応急対応マニュアルの見直しをさせていただいて、国が発表しております南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン等を踏まえまして、南海トラフ地震の発生パターン別の対応を追記したいと考えています。

それから11ページの上段ですけれども、事前復興計画策定推進ワークショップをやらせていただこうと考えています。

それから13ページをご覧くださいと思います。

（２）災害時の物資供給の円滑化の推進の柱であります。その中の（３）として、物資拠点運営における標準的な運営事例を作成しようとしております。ゼロ次物資拠点と、1次物資拠点におきます運営の、いわばマニュアルと、それに基づく体制整備などの整理をしようとするものです。

14ページをご覧ください。

防災・減災事業のうち帰宅困難者対策であります。そのうちの（３）関西広域帰宅困難者・外国人観光客対策ポータルサイトの整備でございますけれども、帰宅ルートや沿道の帰宅支援ステーション等をインターネット上の地図で確認できる「帰宅支援マップ」をつくり、更に、外国人観光客も多言語サイトにつないで情報を得られるようなポータルサイトづくりをしようとするものでございます。

15ページをご覧ください。

⑧であります。台風19号災害を踏まえた防災・減災対策を充実しようとしております。

特に、河川危険箇所図の策定、これを整理したいと考えておりますのと、それから災害対策のノウハウを共有したいということで、人と防災未来センターとも連携して、ノウハウの整理をさせていただきたいと考えております。

続きまして、21ページをご覧ください。

広域スポーツの振興でございます。

ビジョンを改訂いたしまして、このビジョンに基づいて、（戦略Ⅰ）「生涯スポーツ先進地域関西」の実現、（戦略Ⅱ）「スポーツの聖地関西」の実現、（戦略Ⅲ）「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現、を図ろうとするものであります。

22ページをご覧ください。

22ページの③の（１）「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等との機運醸成に向けた取組ですが、開幕1年前にもなりますので、機運を高めていく対応をしっかりと続けていきたいと考えています。

それから23ページの、⑤地域のスポーツ振興に向けた広域的連携による支援であります。②にありますが、（２）にありますように企業等の表彰制度、これを引き続き実施をさせていただきます。

24ページの（３）「スポーツの聖地関西」の実現ですが、ワールドマスターズゲームズの後、秋に神戸で世界パラリンピックの陸上競技選手権大会が開催されますので、これに向けても支援をさせていただき事業を展開させていただきます。

そして、25ページの（４）、これが600万円ほど増えているわけでありましてけれども、関西での広域観光・文化振興とスポーツを連携させようという意味で、（２）スポーツと観光・文化資源を融合させたプログラム、特にサイクリングルートを開発して情報発信をしていきたいと考えているものでございます。

それから、資格試験の関係については47ページです。

ご覧いただきますと、対前年比で500万円ほど増えているのでありますが、その大宗は、准看護師試験の委託費です。准看護師につきましては、試験問題の作成等委託をさせていただいて円滑に試験を実施する方向で検討いたしておりますので、その分を計上させていただいております。

登録販売者・毒物劇物取扱者につきましては減となっております。

52ページをご覧ください。

広域連合の企画・管理費が挙がっております。

全体として、3,768万4,000円を計上させていただいております。

54ページの④広域的な流域対策につきましては、今年度3年計画で進めておりました、琵琶湖・淀川流域対策についての研究会の提言が出そろいますので、これを受けた形で連絡会議をつくりまして、またデータベースの整備を図り、新しい事業に継続させていただこうと考えています。

それから、⑤のプラスチック対策の推進につきましては、プラスチックごみの散乱状況の把握ですとか、代替プラスチックの普及可能性ですとか、対策のプラットフォームを運営させていただくことによって、「関西プラスチックごみゼロ宣言」を行った関西広域連合としての動きを発信していきたいと考えます。

それから、55ページの⑥エネルギー政策の推進ですが、(1)にありますように、関西圏の水素サプライチェーン構想を具体化していこうということで、プラットフォーム会議を開催させていただき、推進を図っていきます。

56ページの、⑦産学官連携によるイノベーションの強化・推進ですけれども、(1)の関西健康・医療創生会議による取組は、整理しながら、さらに具体的な事業の推進を図らせていただければと考えています。

それから57ページ、⑨第4期広域計画等の推進 につきましては、フォローアップの委員会を開催して対応させていただきます。その他、若者世代による意見交換会や女性活躍推進フォーラム、経済界との意見交換会、SDGsの推進、「2025年大阪・関西万博」に向けた取組の検討、ドバイ万博における「関西」のPRなどを計上させていただいております。

59ページが管理運営費であります。若干の減になっておりますが、ほぼ横ばいで管理運営させていただくこととなります。

私からの説明は以上でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○稲垣政策企画部長　　続きまして京都府のほうから、広域観光・文化振興費につきましてご説明をさせていただきます。

16ページをご覧いただきたいと存じます。

令和2年度の予算につきましては、令和元年度の1億503万2,000円に対しまして、1億523万1,000円で19万9,000円の増額となっております。

続きまして、主な事業につきましてご説明を申し上げます。

17ページをご覧いただきたいと存じます。

① 「関西観光・文化振興計画の策定」でございます。

関西観光・文化振興計画につきましては、平成24年3月から10年間の計画といたしまして策定したところでございますが、期間が終了いたします令和3年度末まで2年間をかけまして、次期計画を策定するための委員会の開催費等につきまして180万円を計上しております。

次に③の海外観光プロモーションの実施でございます。

本事業につきましては、昨年同様1,018万6,000円を計上しております。

国の地方連携事業の活用も念頭に置きまして、トップが訪問するにふさわしい地域を現在検討しているところでございます。

次に④の関西観光本部事業でございます。

関西観光本部が実施いたします、海外観光プロモーションに対します負担金として、3,500万円を計上いたしております。

なお、同本部が実施いたします「KANSAI Wi-Fi」に係ります経費につきましては周遊環境の整備に当たりますことから18ページでございますが、⑦の②の「関西周遊環境の整備」に位置づけることといたしまして、今年度と同額の300万円を計上いたしております。

次、そのすぐ上の「ワールドマスターズゲームズ2021関西広域周遊促進事業費」で

ございます。

来年度はワールドマスターズゲームズ2021関西まで残り1年となります。

大会は、令和3年の5月に開催されますので、参加者などに関西各地を周遊いただく環境整備をいたしますためには、来年度から取組を進める必要がございますことから、関西観光本部が実施いたします「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けました、周遊観光ルートの作成、特設ページによる情報発信等、環境整備にかかる経費といたしまして、新規で1,000万円を計上いたしております。

次に20ページをご覧くださいと存じます。

⑮の「新たな関西文化の振興」でございます。

来年はオリンピック・パラリンピックの開催年ではありますが、この機会に、関西の文化的魅力を国内外に幅広くPRするとともに、関西への誘客をより促進する取組といたしまして、関西を代表する舞台芸能や地域の伝統芸能、また若者によるパフォーマンス等を披露する、「舞台芸能交流フェスティバル（仮称）」を開催いたしたいと思っております。

また、⑩「関西文化の振興と国内外への魅力発信」でございますが、この舞台芸能交流フェスティバルの開催と合わせまして、「関西文化の日」の一環といたしまして、賛同を得ました関西の文化施設におきまして、夜間開館などを実施することといたしております。

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○平井委員　それでは、19ページの（3）ジオパークの魅力発信・周遊促進について、説明させていただきたいと思えます。

南紀熊野ジオパークセンターもできたことでありますので、明確に予算を確保しようという形で、例年ほぼ同額でございますが、このようにさせていただいております。

まず、⑧のところですが、国際空港、イベント等でのプロモーションを行う。

また、トッププロモーションにも加わると。さらに⑨でございますが、旅行商品の造成を促進しようと、連合議会でも議論がございましたことを予算化するものでございます。

また、ウェブ上に南紀熊野ジオパーク情報を掲載しまして、北と南の両方のジオパークを見られるようにしようということでもあります。

あと、予算額は入っておりませんが、ガイドの資質向上や、ジオパークにおきます観光本部職員の研修を行いまして、観光関連施策の有機的な統合を図ろうとするものであります。

よろしくお願い申し上げます。

○山野副委員 広域産業振興についてご説明させていただきます。

総額は4,160万8,000円でございます。

27ページにも掲げておりますとおり、引き続き「関西広域産業ビジョン」に基づく取組について、ビジョン推進会議の意見もいただきながら進めてまいりたいと思っております。

以下重点事業、新規事業中心にご説明させていただきます。

同じく27ページの下の段でございますが、関西のポテンシャルの発信・強化といたしまして、「メディカルジャパン」への出展について、関西の認知度・存在感を高め、域内の関連産業の振興を図るため、「メディカルジャパン」を活用しまして、広域連合のブース出展、マッチングセミナー等を行ってまいります。

28ページをご覧ください。

下段の（3）④新規事業として計上してございます。

新たな分野でのイノベーション創出に向けた取組といたしまして、「2025関西ショーケース推進プロジェクト」についてでございます。

万博に向け新たな事業、サービスの創造に向けたさまざまな実証実験が関西各地で展開されること、また、その取組を国内外に広く発信することによりまして、万博閉

幕後も関西がイノベーション創出の適地として認知され、関西から先導的なモデルが創出されるという、好循環につなげていこうということで、構成府県市、関係機関と連携の上、実証実験場の発掘、ホームページでの情報発信、それから希望する企業とのマッチングなどに取り組んでまいります。

29ページでございます。

(4) ⑤でございますが、中堅・中小企業等の成長支援でございます。

入口から出口まで、シームレスに企業を支援する広域的なプラットフォームの構築に向け、公設試の間はもとより、国、民間の研究機関との連携、さらに経営支援機関等の連携について強化するという。それから、構成府県市内の公設試験研究機関の一体的な運用に向けまして、「関西ラボねっと」の拡充を行ってまいりたいと考えてございます。

続きまして、その下でございます。

⑥SDGsの達成に取り組む企業への支援としまして、プラスチックごみ削減に向けた新規事業を実施したいと考えてございます。

関西プラスチックごみゼロ推進事業でございますが、プラスチックごみの削減に向けまして、プラスチックに代わる素材、あるいは製品の開発に向けた情報提供、研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等、産業振興の側面から全体で連携しながら、取組を進めてまいりたいと思っております。

産業振興の一番最後、30ページの⑦、地域魅力の発信・マーケットの拡大支援についてでございます。

関西が有する産業資源、あるいは観光資源、文化資源など、産業化を推進するため、デザインや実用性にすぐれた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力、ポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開します。

取組に際しては、広域観光・文化・スポーツ振興局、農林水産部等、また事務局の連携を強化しながら、効果的なプロモーションのあり方等検討の上、取り組んでまい



る考えであります。

以上でございます。

○仁坂副広域連合長 広域産業振興のうちの広域農林水産に関するところでございますが、はじめて予算を大幅に増にさせていただきました。2.5倍ぐらいという感じで、今まで「もうちょっとたくさんやりましょうよ。」と提案していたのですが、「いやいやその必要はない。」と皆さんに言われていた。とうとう認めていただきましたので、心から感謝をしております。

中身でございますが、柱立ては一緒でございますけれども、地産地消運動の推進で「おいしいKANSAI応援企業」紹介ページの作成と社食でのイベント・PR、その中で特に社員食堂で料理の提供とか、産品販売イベントの実施をしたらどうかというところであります。

それから、学校給食も、量的に増やす、互いのものを食べ合うということなのですが、これは14校から21校にしましょうということでございます。

それから、直売所の交流促進、これは従来からやってきましたが、交流イベントをやって、もっと派手にやっていこうということでもあります。

33ページにまいりまして、スマート農業の推進、これはこれからみんなでいろいろ考えましょうということで、それぞれのお金、出張費、その他、これは各県それぞれということでもあります。

それから、都市農村交流の情報発信、これは今までそういうことで頑張りましょうだけだったのですが、実際に情報発信サイトを共通でつくろうという、サイトの建設費を計上しております。

皆さんどうもありがとうございました。頑張ります。

続いて、研修につきましては、50ページでございます。

特に申し上げることはないのですが、政策形成能力研修の会場は、大阪を予定しております。その他、団体連携研修、WEB研修も従来どおりやらさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○飯泉委員 広域医療です。35ページをお開きください。

広域医療局の令和2年度の当初予算は、前年度比101.1%となる、15億5,020万7,000円を計上させていただいております。

次に36と37ページをご覧ください。

主な事業です。まずドクターヘリの事業につきましては、管内7機のドクターヘリによる府県域を越えた一体的な運航体制をさらに進化させるため、今後ドクターヘリの導入が期待されております福井県、また香川県をはじめ近隣県との連携強化を図っていくことはもとよりのこと、ドクターヘリ関係者会議、また基地病院交流・連携会の開催により、基地病院間の顔の見える関係づくりを促進するとともに、搭乗人材のスキルアップを図り、広域連携の実効性を高めてまいります。

また、来年度、関西広域連合が10周年、記念すべき年であると同時に、ドクターヘリの事業につきましても10年の大きな節目を迎えることから記念シンポジウムの開催を行いまして、これまで以上に取組、あるいはその成果を広く発信したいと思っております。

次に38ページをお開きください。

災害時における広域医療体制についてであります。

近年頻発しております台風、また豪雨災害、さらには「南海トラフ巨大地震」などの大規模災害に備えるため、医療救護活動を統括調整する災害医療コーディネーターのさらなる養成、また災害時における奈良県ヘリも含めた、近畿ブロックのドクターヘリ8機による連携体制の構築、応援・受援が円滑に進みますように広域的な災害医療訓練に広域連合管内のDMATやドクターヘリが参加する機会の拡大などに取り組ましまして、災害医療提供体制の充実強化を図ってまいります。

また、国内外からの交流人口が拡大をすることに伴いまして、感染症のリスクの増加が懸念されるところであります。

今年度より新たな取組を始めました感染症対策について、他分野とも連携した合同

研修会などを実施いたしまして、更なる連携強化を図ります。

39ページをご覧くださいと思います。

専門分野における広域連携として、（２）ジェネリック医薬品普及促進に係る広域連携を、新規事業に掲げたところであります。

ジェネリック医薬品、国におきましては、2020年の9月までに、使用割合80%の目標が掲げられているところでありまして、来年度は目標年次を迎えることから、特に構成府県市の担当者研修会の実施に加え、それぞれの取組、課題の調査、また府県民の皆様方に向けての啓発資料の作成に取り組みたいです。

今後とも、「四次医療圏・関西」の確立に向けてしっかりと、また新たな課題にも取り組んでまいります。

よろしく願いいたします。

○三日月委員　最後に広域環境保全の取組をご紹介します。40ページでございます。

ここに記載のとおり、広域環境保全では（２）から（５）までの4つの分野、4つの柱で取組を行います。

総額といたしましては、要求額として昨年度と比べ311万円増の、4,984万円を見積っております。新規事業を中心にご紹介いたします。

まず、資料の41ページの下段、（２）低炭素社会づくりの推進のうち、省エネ統一キャンペーン等の取組で、「エ」のところ、省エネ家電への買い替えの呼びかけを行っていきたいと考えております。

次に43ページをご覧ください。（３）自然共生型社会づくりの推進のうち、（１）関西の活かしたい自然エリアの保全策・活用策に係る新たな取組として、自然エリアのモデルコースの検討を行いたい。

また、45ページですけれども、先ほど来、話題になっております、（４）循環型社会づくりの推進の中の、プラスチックごみゼロに向けた取組でございまして、例えば、

「ウ」のプラスチックごみゼロシンポジウムの開催によりまして、先進事例の共有ですとか、有識者との意見交換を行うということに加えまして、「オ」のところにある、取組強化月間における統一的な広報、啓発というものを行っていきたいと考えております。その際には、学生等からポスターのデザインを募集するなど、若者世代のプラスチックごみ削減に向けた意識向上も合わせて図っていきたいと考えております。

なお、46ページのところの（5）持続可能な社会を担う人育ての推進では、新たな取組として、環境保全活動団体の交流会を開催しながら、河川の上流と下流のさまざまな取組の連携の輪を広げていきたいと存じます。

後の議題にもございますが、来年度は関西広域環境保全計画の初年度にあたりますため、より精力的に取組を展開していきたいと思います。

以上です。

○井戸広域連合長 予算の概要説明は以上でございますが、特に付け加えて説明等がありましたら、お願いしたいと思います。

なければ、これを1月の総務常任委員会に諮り、2月の全員協議会、そして3月の連合議会に提出させていただくようにいたします。

私の説明で一つ漏れておりましたので、61ページをごらんください。

関西広域連合10周年記念事業として、10年誌を作成することと合わせまして、10周年記念シンポジウムを開催しようと考えております。

内容をきっちり充実させたいと思います。

なお、次の議題となっております、第4期広域計画案の中で、一応9年経過したこともありますので、若干でありますけれども広域連合の今までの活動ぶりを総括させていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、続きまして、第4期広域計画案と、第2期関西創生戦略案についてお諮りをさせていただきます。

事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局 資料2をご覧いただきたいと思います。

まず、1の第4期広域計画案についてでございます。

(1) 策定の趣旨、それから(2)計画期間につきましては、記載のとおりでございます。

(3) 第4期広域計画中間案からの主な変更点ということで、「ア」として、プラスチック対策推進に係る記述を追加しております。

これは、プラスチックごみ削減に向けた総合的な取組を推進していくものでございます。

そして、「イ」がパブリックコメントを受けての変更点ということで、別紙1をご覧いただきたいと思います。

こちらには、11月に実施いたしましたパブリックコメントからの変更点を載せております。

パブリックコメントでは、一般団体等を含めまして9名から計24件の意見をいただいております。総括のところや広域事務の取組方針に関するご意見等をいただいて、それぞれ所要の変更をしたところでございます。

それでは、5ページの別紙2をご覧いただきたいと思います。こちらにつきましては、広域計画等推進委員会などからの主な意見への対応を記載しております。

まず1つ目、広域計画等推進委員会からの意見でございますが、広域事務と企画調整事務の関係、それからこれまでの広域連合の取組の評価の関係、それからSDGsに関することにつきまして、ご意見をいただいております、右の欄のとおり記述の追加修正、それから一覧の追加などを行っております。

そして2つ目が、広域連合議会からの意見ということで、10月に開催されました総務常任委員会での意見から、一つがPMDA関西支部についての意見ですが、産業振興イノベーションのところでは文言の追記をしております。

そして2つ目が、「国土の双眼構造」では、意図が住民に伝わりにくいのではない

か、ネーミングを大阪府市が副首都ビジョンで目指している「副首都圏」にすべきではないかというご意見に対しまして、右の欄に記載のとおり、第4期広域計画においても、「国土の双眼構造を実現」及び「首都機能のバックアップ構造の実現」を使用するという案を示しております。

そして、3つ目が、広域連合協議会からの意見への対応ということで、関西版のフラウンホーファー、それから行政のデジタル化の推進についてのご意見ですが、それぞれ所要の文言の追記等をしておるところでございます。

そして一番下が、市町村からの意見ですが、市町村のほうからは、観光インフラ整備、防災対策などの意見要望をいただいております。

計画の中でも記述しているところがございますが、今後ともしっかりと対応を進めていくということでございます。

そして別紙3、第2期関西創生戦略の関係ですが、前回の連合委員会からの主な変更点を一覧にしております。

広域計画等推進委員会、連合委員会からの意見を受けまして、基本的な考え方の構成の変更とかK P Iの追加など、所要の変更等を行っております。

それで今後は、広域計画につきましては来年3月の議会定例会での議決を目指してまいりたいと思っております。

最後に1点、説明の補足なのですが、先ほど、別紙2、議会からの意見で、第4期広域計画案に記載の「国土の双眼構造」を「副首都圏」というネーミングしたらどうかという意見につきましては、10月5日の総務常任委員会におきまして連合委員会で協議いただくという結論になっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

説明は以上です。

○井戸広域連合長       では、私から総括的にお話させていただきますが、「副首都圏」と言ってしまうと、東京都に次いで2番目の圏域だというようなイメージが出てきてしまうのではないかというご意見があること、京都は、従来から首都はこっちだ

と主張されていること、それから3つ目とすれば、やはり首都圏に対峙する関西というイメージからすると、「副首都圏」というのはいかがかということもありますので、この主な3点の理由から、従来のように首都圏に並び立つ関西の確立ということを確認にするとという意味で、この「副首都」という言い方は差し控えたほうがよいのではないかとすることにさせていただきたいと考えますので、よろしく願いいたします。

大阪府が使われるのは全然、我々として反対するものではありません。

広域計画の中で、そういう形で述べていくというのはいかがだろうか、ということでございます。

それでは、広域計画につきましては、以上のような整理でよろしゅうございましょうか。

本文をご覧くださいますと、これまでの取組の総括があるのですが、本当に一応の総括で、もう少しきちっと書いたほうがいいのではないかと考えられなくはないのですけれども、ご了承いただいたということにしたいと思います。

続いて、創生戦略についてですが、こちらが一番の問題は、基本目標をどうするかということでした。最終的には、毎年東京圏からの転入増と、東京圏への転出減を目指そうということが一つ。もう一つは、毎年度国の経済成長率を超える成長を目指そう、ということで、人口と経済成長の二つを基本目標にさせていただいております。

ただ、全体としてプラスを目指そうというのは、今の自然減の動向からみて容易なことではありませんので、そういう目標は掲げないで、社会増減に特に着目して、人口の動態分析を強化していこうということにさせていただいたということで、ご了解いただければと思います。

他はよろしゅうございましょうか。

それでは、創生戦略につきましても、この案で進めさせていただきます。

特に、K P I 重要業績評価指標が13ページと14ページに並んでおりますので、この点についてはさらにご意見がございましたら、ぜひ修正なり、あるいは追加なり、ご

意見を頂戴できればと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは続いて、環境保全計画（第3期）につきまして、お願いいたします。

○三日月委員 広域環境保全計画（第3期）（案）につきましてご説明申し上げます。資料3をお願いします。

広域環境保全局では、第4期広域計画の策定作業に合わせて、次期の広域環境保全計画中間案についてのパブリックコメントを11月に実施いたしまして、別紙1のとおり2者、お二人の方から5件のご意見をいただいたところでございます。

地域特性を生かした環境学習事業を関西各地で実施することでありますとか、プラスチック対策では、農業系のプラスチックについても対策が必要といった内容がございました。

今後の取組の参考とさせていただきたいと存じます。

また分野横断的に、このプラスチックごみ削減に向けた総合的な取組を推進していかなければならないということから、第4期広域計画案の内容を踏まえまして、別紙2のとおり、関係する記述を変更させていただいたところでございます。

今後のスケジュールにつきましては、先ほどご説明のあった広域計画と同様、本日各委員の皆様にご了承いただいた後、1月の最終案の協議を経て、3月の連合議会上程させていただきたいと考えているところでございます。

以上です。

○井戸広域連合長 特にご意見等ございますか。なければ次に進めさせていただきます。

第3次のカワウ広域管理計画についてであります。

また、三日月委員からお願いします。

○三日月委員 カワウの広域管理計画の中間案についても、パブリックコメントを11月に実施しておりました。

資料4の別紙1のとおり、お二人の方から7件のご意見をいただいたところでござ



います。

カワウの駆除を継続し、カワウ総数を減らすべきといったご意見でありますとか、管理目標の表現、現行計画の評価に関して貴重なご意見をいただきました。

パブリックコメントを受けまして、別紙2のとおり、管理目標について意図が伝わるよう丁寧に記載するとともに、現行計画の評価についてもわかりやすい表現とさせていただいたところでございます。

目標設定でありますとか、捕獲に関するご意見につきましては、関西広域連合と府県市町村の役割分担のもと、各自治体で取り組んでいただけるよう後押しすることとしております。

こちらの今後のスケジュールにつきましては、本日各委員の皆様のご了承をいただいた後、1月の最終案の協議を経て、こちらは連合議会への上程はせずに策定決定とさせていただければと存じます。

以上です。

○井戸広域連合長 環境保全計画の下位計画だから、議会に諮ってないということですね。

特に何かご意見ありますか、なければ了解をさせていただきたいと思います。

続きまして、報告事項に入らせていただきたいと思います。

資料5 象印マホービン株式会社との連携協定の締結について、三日月委員お願いいたします。

○三日月委員 広域環境保全の施策といたしまして、循環型社会づくりに向けて、できるだけペットボトルを使わずに、マイボトル持参運動をしようということで、我々も今日もそれぞれに水筒を持って参加をしておりますが、今回こういった取組をさらに加速化させたい、また構成府県市民の機運醸成、理解促進を図っていききたいということで、象印マホービン株式会社様と連携協定を締結することといたしました。

協定締結を契機といたしました取組事項は次の2点でございます。

1つ目は、我々が主催する、共催する、後援するイベントですとか、構成府県市の施設等において、象印マホービン株式会社様が取り込まれる給茶スポットの設置による、マイボトルの普及促進ですとか、省エネ家電への買い替え推進などの、省エネの推進などを連携して行っていければと考えております。

協定の締結式は、12月26日の木曜日、14時から滋賀県庁で行わせていただく予定でございます。

なお、他のメーカー様もいらっしゃいますが、関西に本社を置くメーカー様ということと、関西に本社を置くところは、他にもあるじゃないかということでございますが、お話を持ちかけたところ、ご理解いただいたのが、この象印マホービン株式会社様であったということでございますので、まず第一弾として、この取組をスタートさせたいと思っております。

以上です。

○井戸広域連合長 分野連携協定、今まであまりなかったのですが、応援していただける企業との連携は重要な基本方向だと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

それでは続きまして、北陸新幹線の建設促進大会と要請行動の結果についてご報告申し上げます。

本部事務局、お願いします。

○事務局 資料6をお願いいたします。

去る11月26日に東京で北陸新幹線の建設促進大会と中央要請を実施いたしました。大会は国会議員をはじめ約100名の出席をいただき、盛大に開催をしたところでございます。合わせまして、中央要請につきましては、国土交通大臣、それから政府与党に対し要請活動を行ってございます。

説明は以上です。

○井戸広域連合長 たまたま東京に挨拶でお見えになっていた、西日本旅客鉄道株

式会社の社長及び次期社長にもご出席いただいたということでございました。

特別のコメントはありませんけれども、大分、並行在来線は理解が進みつつあるのではないかという印象です。あくまでも印象ですけれども。

では続きまして、大学生との意見交換会の開催結果につきまして、せっかくだから、寺崎副市長から報告していただいたらどうでしょうか。

○寺崎副委員 済みません。

私この会議には出ておりませんでした。この12月7日に久元市長が出席して、神戸市内の神戸学院大学のポートアイランドキャンパスにおきまして「人が還流し、関西の魅力・活力を高めるために」ということで、10大学から15チーム、別添の2枚目に発表チームが書いておりますけれども、このような発表が行われ、大変有意義な意見交換が行われたと報告を受けております。

以上でございます。

○井戸広域連合長 こういう若い人たちの意見をこれからも吸収して対応していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

次はどこでやるのですか。まだ決まっていないか。

開催希望を最優先するそうですので、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして資料8、准看護師試験の実施についてお願いします。

○事務局 准看護師試験の実施についてご報告いたします。

今年度の准看護師試験は2月16日に各府県6会場にて実施し、3月10日に合格発表を行うことといたしております。出願者数につきましては、現在890人でございます。

ご説明は以上でございます。

○井戸広域連合長 この試験から問題作成を委託するのですか。

○事務局 いや、今年度は広域連合で全部作成しております。委託は来年度から。

○井戸広域連合長 それでは、間違いのないように頑張ってください。

続きまして、資料9の職員合同研修について、ご報告です。

○事務局　それでは、資料9をお願いいたします。

令和元年度関西広域連合職員合同研修についてです。

本研修は関西広域連合の併任職員、あるいは本部事務局職員を対象に関西の広域課題とその解決に向けた取組等を学ぶ研修として、平成28年度より実施しているものです。

本年度は来年2月12日に兵庫県神戸市内で実施することとしており、講師につきましては、自治体構想2040構想研究会委員や全国知事会の地方分権に関する研究会委員を務められた、井手英策慶應大学経済学部教授をお願いをしております。

今回は貴重なこの機会を有効活用するため、兵庫県が主催する県内の市町長及び議長等を対象とした研修と共催することとしております。

講演名及び講演内容につきましては、現在調整中でございますので、今後決定次第、速やかに開催通知を発出いたしますので、職員の派遣についてご協力のほどよろしくをお願いいたします。

説明は以上です。

○井戸広域連合長　場所はどこですか。

○事務局　この2月12日に利用可能な施設として、JR灘駅前のBBプラザを、仮押さえしております。

○井戸広域連合長　300人ぐらい入るのかな。

○事務局　250名ほどです。

○井戸広域連合長　はい。では続きまして、ワールドマスターズゲームズ関西の準備状況についてご説明をいただきます。

○事務局　11月中旬から今月上旬にかけての広報誘客活動を取りまとめておりますので、概略をご説明いたします。

お聞きいただきまして、2ページ左上、神戸マラソンこの11月15日にブースを展示いたしました。

合わせて大阪の万博記念公園での大阪府のスポーツイベントにも出展をしております。

右のほうに移りまして、これは福島県で行われました全日本シニアバドミントン大会、宮城県での全日本社会人バスケットボール大会にも出展をいたしております。

4 ページをお願いいたします。

この11月20日、21日と堺市で開催されました世界野球ソフトボール連盟総会、これは135カ国約400名の参加がありましたが、こちらにも出展をして一定の成果を上げております。

あと大阪マラソン、それからこれは千葉県で行われましたマスターズ水泳スプリント選手権大会、熊本県でのマスターズハンドボールシニア大会にも出展をしております。

特筆すべきなのが一番最後に書いております、第21回アジアマスターズ陸上競技選手権大会、これはマレーシアのクチンで行われましたが、大会アンバサダーの朝原選手ほか4名の400メートルリレー、45歳から49歳クラスの世界記録、43秒27が達成されました。

この模様は、組織委員会から派遣させました職員が撮った動画がNHKその他民法で流れたところでもあります。

それから、今後の予定ですけれども、来年1月16、17日と、これはスポーツ庁、観光庁、文化庁、3庁合同で金沢で行われます、スポーツ文化ツーリズムシンポジウムへの出展、それから2月の6、7日と関西財界セミナー、これは6分科会のうちのひとつでスポーツをテーマに分科会が立ち上がるのですけれども、こちらでスポーツ体験教室等を開催いたします。

合わせて、2月14、15日の京都マラソンEXPOにも出展いたします。

以上です。

○井戸広域連合長      ありがとうございました。

いずれにしても、来年の2月から一般的な募集が始まりますから、機運は盛り上がっていくことになるのではないかと考えています。

先週も開幕日の5月14日に合わせ、514日前ということで元町の駅前にカウントダウン計をオープンさせました。

これラグビーワールドカップのカウントダウン計を模様替えして活用することにさせていただきます。

朝9時半という時間設定だったので、関係者しか集まっていませんでしたが、やっぱり8時半ぐらい、通勤通学者にアピールするような時間帯すべきだったと反省しております。2月1日は何かやるのですか。

○事務局 1日もイベントを行いますけども、その前日に、関経連と広域連合と一緒にセレモニーをやる予定にしています。

○井戸広域連合長 どちらで行うのでしょうか。

○事務局 大阪大学の中之島センターで、関経連と広域連合が行うスポーツ企業表彰の表彰式と合わせて。

○井戸広域連合長 わかりました。あと、カウントダウン計の府県等への配布について、考えていただいたほうがよいと思います。盛り上げのきっかけですから。1台は組織委員会が交付しても、各府県、独自に10台設置する等もあり得ると思われまので、ぜひ検討してください。

本来は、実施市町村ごとに置いていただきたいのです。各県の実施委員会だけでなく。それは何とかありませんか。

○事務局 今、各府県でプレイベントとか、各実行委員会なり市町の実行委員会でテストマッチとか1年前イベント、いろいろ企画していただいておりますので、そことタイアップして、うちの方からも若干資材等を提供するというような形で、運動的にやっていくような形で少し考えていきたいと考えています。

○井戸広域連合長 ぜひ積極的な対応をお願いしたいと思います。

資料11は兵庫県からの情報提供であります。どうぞ。

○事務局 資料11をお願いいたします。

ただいまのワールドマスターズゲームズ2021関西に関連しまして、兵庫県におきましてスポーツ休暇の創設等を行いましたので、ご報告させていただきます。

職員の積極的な参加を促すということで、特別休暇を創設いたしました。

ワールドマスターズゲームズの公式協議、それからオープン競技、また前年に行いますリハーサル大会に、資料上では、「選手として出場する場合」と限定的に書いておりますが、選手以外にも監督コーチ等、その競技関係者として出場する場合も含み、取得できるとしております。

日数としましては、1暦年で5日としております。

これにつきましては、先ほど申しました本大会、またリハーサル大会ということで、令和2年、3年の2カ年ということで、限定をしております。

合わせまして、兵庫県におきましては夏季休暇を6月から9月の期間、5日間取れることとなっておりますが、これにつきましても、令和2年、令和3年の2カ年におきまして、5日間という日数は変わりませんが、5月から9月ということで、取得期間を変更したいと考えております。

これにつきましては、構成府県市におかれましても、是非ご検討いただければと考えております。

また、機会を捉えまして、経済界等にも情報提供をいたしまして、企業への導入を呼びかけていきたいと考えております。

報告は以上です。

○井戸広域連合長 どうぞよろしくをお願いいたします。

ボランティアの場合はどうなるのですか。

○事務局 ボランティアの場合は、兵庫県の場合、ボランティア休暇ございますので、そちらの対象と考えております。

○井戸広域連合長 ボランティア休暇は5日間ですか。

○事務局 はい。暦年で5日です。

○井戸広域連合長 ボランティア休暇は期間が限定されていないから、それを使ってくださいと。今回のスポーツ休暇は、管理職も取得できるのですか。

○事務局 できます。知事は特別職ですので休暇はございませんが、一般職は広く可能となっております。

○井戸広域連合長 ちゃんとプール会員になって平泳ぎの練習をしておりますので、ご披露させていただきます。

それでは次に資料12で、主なイベント等のスケジュール等、広域連合から紹介をさせていただきます。

○事務局 令和元年度第4四半期の関西広域連合並びに関西圏域の主なイベントのスケジュールをまとめさせていただきました。ご覧おきいただければと思います。

令和2年4月以降のスケジュールにつきましては、来年の3月に報告させていただきます。と思います。

また、先ほどワールドマスターズゲームズ2021関西からの報告の中で言及のありました「関西スポーツ応援企業表彰」は3ページの中ほどに記載しております。ご確認いただければと思います。

以上でございます。

○井戸広域連合長 最後に、資料13で、関西広域連合指導者講習会を1月26日に予定しておりますので、滋賀県さんに事務局をお願いしているようではありますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

1月26日は、予算査定の真っ最中だから、私は身動きを取れませんね。そういう方が多いのかもしれない。どうぞよろしくお願ひします。

予定しておりました案件は以上でございますが、特にこの際ご意見等がございましたら、お願ひいたします。



それでは、第112回関西広域連合委員会は以上とさせていただきます。

今年も広域連合委員会での各種議論、そして各事業へのリードについて感謝を申し上げ、来年度もしっかり取り組ませていただくことを誓い合ひまして、委員会を終了させていただきます。

ありがとうございました。

○事務局 どうもありがとうございました。

それでは引き続きまして、報道関係の皆さんからご質問等ございましたら、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○神戸新聞 井関氏 神戸新聞の井関と申します。

井戸広域連合長にお尋ねしたいのですが、今回の案件の中で、次期広域計画案がありましたが、その中にある、設立当初から目標に掲げられてらっしゃいます国の出先機関の丸ごと移管を目指すということが、9年たって実現の目処は立っていないという状況にあって、次期広域計画の中でどういった戦略で、どういった方向性で、どういった姿勢で国に対してとられるのかという点と、このまだ検討になると思うんですが、関西の特徴を生かした地方分権のあり方等の検討というのがありますけども、これはどういったことを想定されているのかと、その2点をお尋ねします。

○井戸広域連合長 最初の出先機関の問題については、まず関西広域連合と出先機関とのテーマによっての共同事業化というのができないかということステップとして検討していきたいと考えています。

事務をよこせと、真正面から言っても全然相手にしてくれていないのが実情にありますので、テーブルに乗ってもらえるような対応を検討していく必要があるのではないかと。そのためには、出先機関だけでなかなか取り組みにくい分野もあるので、一緒にやった方がよい分野をこちらから提示して一緒にやっとうと、共同事業化を進めながら道筋がついていかないかなということの基本戦略にしたいと思っています。

それから2つ目の、関西の特徴を生かした地方分権のあり方ですが、どこでも特色を生かした地方分権を進めるというのでしょうか、関西の場合は、もともと国の都があったという伝統を引き継いでいるわけですし、3つの政府関係機関が現に、徳島も含めた関西に来てくれることになったわけでもあります。東京圏のように同心円的な同一文化が広がっているということではなくて、それぞれの府県が、歴史も風土も地形も産業構造にも違いを持ち、昔は関西は一つ一つと言われたような特色があったわけですから、それを乗り越えて、関西は一つの広域連合をつくってきた、こういう特性や特色を生かした対応していきたいということを象徴的に書かせていただいているということだと思っています。

○神戸新聞 井関氏 最初の共同事業化という話なんですけれども、それ具体的にどういったものかというふうなことが、今の段階で言えるものがありますか。

○井戸広域連合長 これから検討です。言えれば楽なのですからね。

協力を求めていく相手もなかなか素直ではないので、しっかり相談をしていけるようにしていきたいと思っています。

○事務局 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

はい。どうぞ。

○日本経済新聞 皆上氏 連合長にお伺いしますが、10周年記念事業に取り組まれるということで、少し総括も盛り込みたいというお話がありました。

今の段階で何を総括しようと、どういったことが検討課題になって、どのような形で総括ができればよいかとお考えなのか教えてください。

○井戸広域連合長 端的に言うと、広域連合は各府県間の広域事務の持ち寄りできてきているわけですが、この7つの広域事務の推進についてはしっかりとした取組がこれまでも行ってこれたし、この9年間で実績も挙げてきた。

特にドクターヘリですとか、自然災害に対する被災地に対する支援ですとか、顕著

に成績を挙げてきた、こう言えるのではないかと考えています。

このあたりはしっかりと評価するということになるのだと思うのですが、もう一つは、広域連合ができたことそれ自身が、私は地方分権に対する一つのトピックスだったんだと思うのですけれども、そのことが余りきちんと評価されていないのではないかと思いますので、その辺をアピールしていかなきゃいけない。

府県域を越える広域連合が機能しているのは関西だけですが、そのことをしっかりアピールしていかなきゃいけないのではないのかということが一つ。

もう一つ、国との関係で、国の事務移譲の受け皿としての機能を果たそうという点が、大きな目標だったのですが、これは、民主党政権時代に閣議決定まで法案が行ったのですけれども、解散で飛んでしまいましたので、それ以降大きな進展を見ておりません。

政府関係機関の地方移転はそれなりの効果があったのですが、それ以外に大きな進展を見ていませんので、この点は厳しく評価を加えて努力を促すという意味で総括しないといけないのではないかと考えています。

この3点ですね。

○事務局　よろしいでしょうか。

それでは、以上で終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

閉会　15時10分